

第18回宇宙開発委員会（定例会議）
議事次第

1 日時 昭和50年7月9日（水）
午後2時～4時

2 場所 宇宙開発委員会会議室

3 議題

(1) 安全部会報告について

(2) E S A との行政官会議について

4 資料

季18-1 第17回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨

季18-2 Nロケット1号機の打上げに係る安全対策について（報告）

季18-3 欧州宇宙機関（E S A）との行政官会議について

季18-4 エード・メモワール

第17回宇宙開発委員会（臨時会議）

議事要旨

- 1. 日時 昭和50年7月4日（金）
午後2時～4時
- 2. 場所 宇宙開発委員会会議室
- 3. 議題
宇宙開発計画の見直しに関する審議について
- 4. 資料
委17-1 第16回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
委17-2 宇宙開発計画の見直しに関する審議について（案）
委17-3 宇宙開発計画に関する関係機関の要望事項

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	山 県 昌 夫
" 委員	網 島 毅
" " "	八 藤 東 禧
" " "	斎 藤 成 文

関係省庁職員等

科学技術庁事務次官	久良知 章 悟
" 研究調整局長	伊 原 義 徳
" 宇宙開発参事官	山 野 正 登
文部省学術国際局審議官	笠 木 三 郎
	(代理：滝本)
通商産業省工業技術院総務部長	仲 矢 鋭
	(__"：木村)

(1)

運輸省大臣官房参事官 横 田 不二夫
(代理：菊地)

気象庁総務部長 宇都宮 寛
("：高谷)

郵政省電波監理局審議官 市 川 澄 夫
("： 堯)

文部省学術国際局 小 杉 祐 司
宇宙開発事業団 菊 地 昭

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長 上 島 史 郎
" 宇宙国際課長 松 原 伸 一
" 宇宙開発課長 今 村 宏 他

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨について

第16回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が一部修正のうえ確認された。

(2) 宇宙開発計画の見直しに関する審議について

事務局から、資料委17-2及び委17-3に基づいて説明が行われ、以下の質疑応答が行われたのち、資料委17-2の一部に次の修正を加え、決定された。

- ① 審議事項の「主として」を削除し、1の(4)の次に「(5)その他上記事項に関連する事項」を追加する。

網島：Nロケット第2段に再着火能力をもたせるためには、既存のエンジンを改良するのか、或いは新しいエンジンを開発するのか。

(2)

事務局：既存のL E-3型を改良する。

山県：文部省からロケット実験実施時期について要望されているが、これと宇宙開発計画との関連はどうか。

事務局：本要望の内容は行政レベルの問題であるので、正確には宇宙開発計画に対する要望事項ではないと考える。

山県：運輸省から、米国に依頼して打ち上げる人工衛星の打上げが失敗した場合を想定し、G M Sの予備衛星の打上げについて要望されているが、従来、宇宙開発計画は予備衛星の打上げについて記述していない。

本要望を取扱うにあたっては、従来と同じ方針でよいか。

事務局：人工衛星の打上げが失敗することを想定して計画を策定すると、多くの仮定が入るため混乱したものとなってしまう。従って、従来どおりの方針でよいと考える。なお、米国に依頼するG M Sの打上げについては、仮に失敗したとしても予備衛星を打ち上げることは可能であるが、計画は改訂しなければならない。

網島：宇宙開発計画の見直しに関する審議事項の1つである。

長期構想は、長期ビジョン特別部会における審議とはどのような関連があるのか。

事務局：この長期構想の審議は、4月2日の委員会決定によつて調査を行った各省の要望をふまえて行うものである。